

コメント

東北大学
明日香壽川

2021年6月8日

1

日本の省エネは遅れている

事例：断熱基準（鳥取県）

断熱性能は3段階。県ではT-G2を推奨しています。

区分	国の省エネ基準			ZEH (ゼッチ)	とっとり健康省エネ住宅性能基準		
	等級2	等級3	等級4		T-G1	T-G2	T-G3
備考	旧基準 (S55年)	新基準 (H4年)	次世代基準 (H11年)	2020年標準 政府推進	冷暖房費を抑える ために必要な 最低限レベル	経済的で快適 に生活できる 推奨レベル	優れた快適 性を有する 最高レベル
断熱性能 U_A 値	1.80	1.54	0.87	0.60	0.48	0.34	0.23
気密性能 C値	—	—	—	—	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	—	—	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
世界の省エネ 基準 (U_A 値) と の比較 ^{※4}							

※ZEHは、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略。断熱化による省エネと太陽光発電などの創エネにより、年間の一次消費エネルギー量（空調・給湯・照明・換気）の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅をいいます。

出典：鳥取県「鳥取健康省エネ住宅」

2

2030年温室効果ガス46%削減達成 のエネルギー指標および経済効果

	シナリオ1 (再エネ電力38%)	シナリオ2 (再エネ電力50%)	シナリオ3 (省エネ拡大)
エネルギー起源CO ₂ 排出量	46%削減	50%削減	50%削減
最終エネルギー消費量	23%削減	23%削減	30%削減
再エネ電力供給量	約4000億kWh	約5200億kWh	約4200億kWh
再エネ電力割合	38%	50%	44%
化石燃料輸入削減額 (注1)	約7兆円	約7兆円	約7兆円
発電単価	15円/kWh	15円/kWh	15円/kWh
発電コスト総額 (注2)	15.4兆円	14.4兆円	14.0兆円
雇用創出数	135万人/年	200万人/年	170万人/年